Ⅴ．発掘調査技術等研修会の記録

平成16年度　発掘調査技術等研修会　開催報告

2004年12月８日（水）・９日（木）に、愛知県教育委員会と愛知県埋蔵文化財センターの共催で行われた。今年度の研修会は「埋蔵文化財としての参加体験型学習について」と題し、学校教育現場あるいは地域社会における埋蔵文化財の活用法とその事例について検討を加え、併せて生涯学習での幅広い活用法を模索することをねらいとした。

県内の埋蔵文化財担当者、博物館学芸員、生涯学習課担当者などから８日には41名、９日には46名と多くの参加者が集まった。

12月８日（水）

会場：愛知県埋蔵文化財センター２階研修室

・講義１「弥生学習講座」
　講師　原田　幹氏（県文化財保護室）

・講義２「体験型考古普及活動の事例と
　その問題点」
　講師　岩瀬彰利氏（豊橋市教育委員会）

・「出前授業体験」… 火おこし・道具使用体験
　「石の斧と鉄の斧」

・座談会・意見交換会

８日最初の講義の原田　幹氏（県文化財保護室）からは平成12年度に始まった「出前博物館」の実施状況や「メニュー」、募集から実施までの流れ、準備の苦労や安全対策、留意点などの詳細な報告があった。

岩瀬彰利氏（豊橋市教育委員会）は豊橋市の事例紹介のあと、「体験型普及活動」をテーマパークの体験にさせない、学習重視の方向性について話された。

午後は野口哲也氏・原田　幹氏（文化財保護室）の指導のもと、火おこし体験と復元した石斧と鉄斧を用いた丸太切断の比較実験を行った。指導する側の学習と訓練の重要性を身をもって体験する結果となった。

その後の座談会では、他地域の事例や体験談について質問や活発な意見交換があった。


原田氏の講演のようす


岩瀬氏の講演のようす


火おこし体験


石斧使用体験

12月９日（木）

会場：安城市歴史博物館

・講義１「博物館と学校現場」
　講師　加藤善亮氏（安城市歴史博物館）

・講義２「博物館における子ども向け講座の
　目的と方法」
　講師　久保禎子氏（一宮市博物館）

・「安城市埋蔵文化財センター
　および博物館の見学」

９日は会場を安城市歴史博物館に移し、まず加藤善亮氏（安城市歴史博物館）が学校教育現場への博物館の働きかけの実際について、学習指導計画の時期や内容にあわせた博物館展示企画の工夫や教師との連携について紹介された。

久保禎子氏（一宮市博物館）は、歴史・民俗・自然科学などを綜合した体験型学習の事例について、「本物指向」を目指す際の問題点や苦労について紹介された。

午後は、公開を前提とした設計で建設された安城市埋蔵文化財センターの収蔵庫を含む諸施設と、安城市博物館の企画展「正月の遊び」を見学させていただいた。

今回の研修会は、講師の方々をはじめ参加者の皆さんが熱っぽく語られたように、まさに現在進行形の「体験型学習」「体験型普及活動」のこれからの可能性を改めて認識する機会となりました。厚く御礼申し上げます。　（武部真木）


加藤氏の講演のようす


久保氏の講演のようす


安城市埋蔵文化財センター見学



安城市歴史博物館見学